

報道関係各位

## 化粧品等の皮膚安全性を向上させる 国内初の産学官ネットワークが稼働 -医療と産業界が連携し、皮膚障害等のリスクの減少を目指す-

厚生労働科学研究費補助金事業（2015年度は日本医療研究開発機構（AMED）医療研究開発推進事業費補助金）として研究を進めていた“皮膚安全性症例情報をコアとした、国内初となる産学官ネットワーク構想”の実現を目的に、本年4月1日に一般社団法人SSCI-Netが設立され、このたび本格的に稼働することとなりました。近年、化粧品などの日常製品が原因で、皮膚障害や想定外のアレルギーが発症し、その被害の広がりが社会問題に発展したケースが幾つかありました。

この経験を踏まえ、リスクの早期発見による迅速な対応と製品の皮膚に対する安全性向上を、社会全体で進めることを可能とするため、パッチテスト\*等により一定の精度をもった皮膚症例情報を収集し、それを産学官で共有し迅速に検討をし、最適な対応に導くという、「皮膚の安全性を向上させるネットワーク」が本格的に稼働を始めます。

今回、このネットワークの中核となる『一般社団法人SSCI-Net』の経営陣に、皮膚科系医学会と、化粧品を中心とした産業界が加わり、医療の世界と産業界が連携し、市民の皮膚障害事象を減少させる活動を進めてゆくこととなりました。

この一般社団法人SSCI-Netは、皮膚アレルギー・接触皮膚炎関係の診断で日本をリードしている藤田保健衛生大学に本部を置き、同大学が持つ臨床面での知見、非臨床面での先端的研究能力が加わっています。また皮膚科系医学会による臨床研究とも連携し、皮膚の安全性に影響する成分の研究成果などの活用により、これまで以上に正確な情報をタイムリーに関係者へ提供することが可能になることが期待されます。

今後このネットワークへの参加者が広がり、それに伴い日本の化粧品等日常製品自体の安全性も向上し、皮膚に関する安全性では世界トップクラスの国となるため、本ネットワークを充実させてまいります。

\*パッチテスト：アレルギー性接触皮膚炎の診断、原因解明のために行う検査。原因と疑わしい物質を皮膚に接触させ、その部位に皮膚炎が生じるかどうかを調べるもの。

# 一般社団法人SSCI-Net事業概要

2016年7月

一般社団法人SSCI-Net

## SSCI-Netとは？

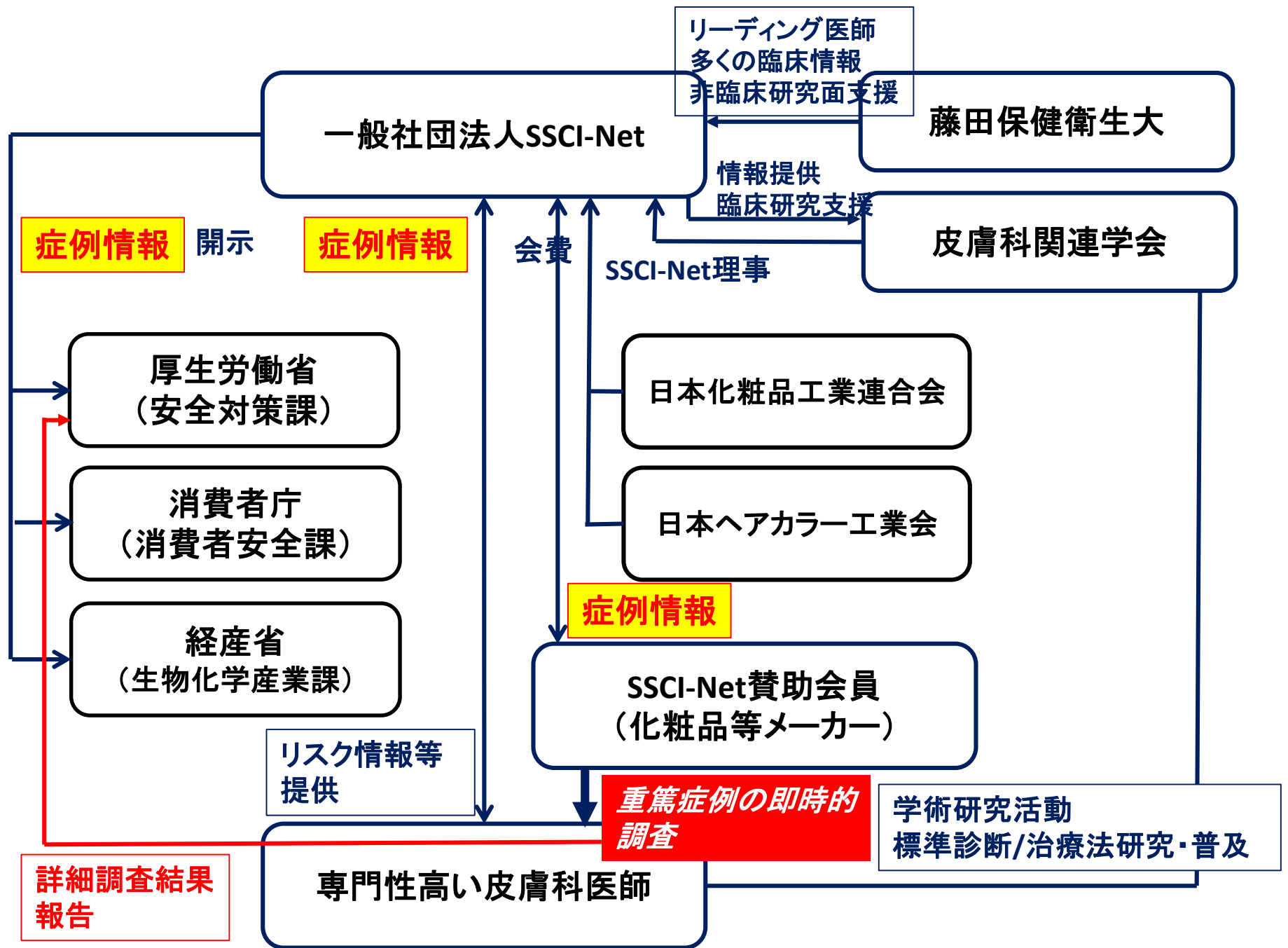
Skin Safety Case Information – Network(皮膚安全性症例情報ネットワーク)の略

### 事業の特色

過去に発生した『茶のしずく事件』『ロドデノール白斑事件』の反省を踏まえ、厚生労働科学研究費補助事業(現AMED)として構築してきたもので、

- ・皮膚アレルギー診断等に専門性の高い医師が、皮膚障害症例情報を迅速にSSCI-Netシステムに登録する。
- ・当該皮膚障害原因としての被疑製品となった製造企業に、SSCI-Net事務局より迅速に通知され、同製造企業が該当する皮膚障害症例情報内容を確認する。(必要に応じて詳細調査および当局への報告へ)
- ・厚労省、消費者庁等の関係省庁は、全ての症例情報をモニターできる。
- ・また、皮膚障害原因となる可能性が高いアレルゲン研究等の医師主導型臨床研究を支援し、収集されたリスク情報などの発信を通じて化粧品等の安全性向上に資する。

これにより、産官学が連携し、消費者(国民)の化粧品等による皮膚健康被害を早期に発見し、その被害を最小化を図る。またこの活動を通じ、よい安全で安心できる製品が製造供給される国とすることに資する。



一般社団法人SSCI-Net

リーディング医師  
多くの臨床情報  
非臨床研究面支援

藤田保健衛生大

症例情報 開示

症例情報

情報提供  
臨床研究支援

皮膚科関連学会

会費

SSCI-Net理事

厚生労働省  
(安全対策課)

日本化粧品工業連合会

消費者庁  
(消費者安全課)

日本ヘアカラー工業会

経産省  
(生物化学産業課)

症例情報

SSCI-Net賛助会員  
(化粧品等メーカー)

リスク情報等  
提供

重篤症例の即時的  
調査

学術研究活動  
標準診断/治療法研究・普及

詳細調査結果  
報告

専門性高い皮膚科医師

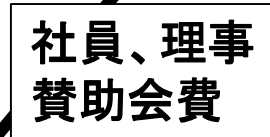
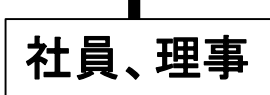
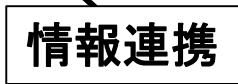
# 産官学の関係

- ・日本皮膚科学会
- ・日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会
- ・日本化粧品学会
- ・日本臨床皮膚科医会

厚生労働省  
消費者庁  
経済産業省

皮膚科関連学会

日本化粧品工業連合会  
日本ヘアカラー工業会  
.....



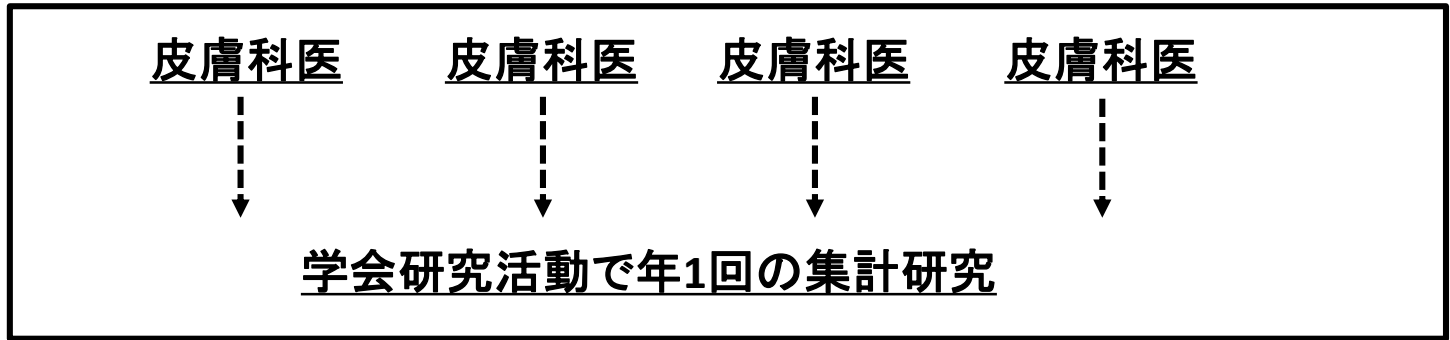
(産官学意見交換の場)



設立時役員: AMED研究主要研究者  
設立時社員: 上記主要研究者と  
粧工連、ヘアカラー工業会

# SSCI-Netによって何が変わるのか？

過去: ネットワークされていなかった



今後: ネットワークされ連携する構造

